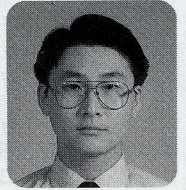


# 性文化の行方

生物圏科学研究科  
博士課程後期三年

Hong  
**洪善基**  
Sun  
**善基**  
Kee



今日はいん明ハセヨ

## 日本の性文化

人間誰しも関心を示す話題の一つは、性である。それに関して、日本の文化について教科書から教えられるほか、たくさんの人々から物語のように聞かされた話がある。

それは韓国人と比較した場合、日本人は昔から性についての意識が非常に解放的、という話であった。例えば、吉原遊廓から始まって、京都の芸者文化、伝統的なエロチックで露骨な版画、温泉場の男女混浴など、性を素晴らしく商品化してしまう。

その数えきれない性文化は、初めての他国である日本での留学生生活が始まった時から、異なった文化として興味深く私の心を動かしていた。

## 氾濫する性の波紋は、現代の若者に何を伝えてくれるのか

日本人は、なぜそんなに性に憧れているのか。日常生活のどこまで性文化が浸透しているのか。

日本語が下手で、食堂でも話がうま

く通じなかった留学初期、とりあえず下宿に近いコンビニを利用した。韓国と違っているんな雑誌を売っていて、興味深く立ち読む人もいたので、私もその一人になって読んだ。とにかく男女の性的行為を非常に細かく表現しているのを見てびっくりした。

ある雑誌だけだと思ったら、ほとんどの雑誌に限りなく女体や性的行為について描写してある。誰でも手が届く場所に成人用ビデオテープが並んでいて、客が待っている。

私も後で鑑賞できる機会があったが、それはほとんど内容もなく、特に男性の遊びに、女性がただモノみたいに使われているのが全てであった。性として、男女ともに共有して共感できる部分は全然無かった。最初の興味を外れ、ただ刺激的な画面だけで興奮する若者を考えると、何と情けない、と思われた。

氾濫する性の波紋は、現代の若者に何を伝えてくれるのか。私のショックはここで終わってはいなかった。

三年間の留学生活中、世の中の多様なマスコミを通じて伝えられた性の文化は数えきれない。例えば、ブルセラ、

ジュリアナ、レディース・コミックなど。最近もっともびっくりさせられたのが、女子高生のブルセラショップの隆盛や売春の低年齢化（彼女らは自らの売春に罪悪感を抱いていないようだ）である。

この現状は、あるフェミニストらが語る、男に頼ってきた性からの女性解放運動の一つだと考えても、また、性文化の新しいジャンルが開拓されたと思っても、私には美しい性の風俗だと素直に納得し難い。

もちろんごく少数であるが、普通の学生が低質の性商品の対象になったことについては、非常に残念に思う。

ところが、バブル経済とともに盛り上がった狂乱的性産業は、バブルの崩壊である転換期に向っている感じがする。

## 青少年まで汚した文明は、早く破滅していった

しかし、ショックの影は、私の人生で絶対離れ難いものとなった。性のメンタルな部分とセックスの本能が分別できない若者にとって、性情報の氾濫は、彼らの性に対する基準値を越えて、忍耐できないくらいまでになってしまった。

性文化が、人類の経済・社会の発展とともに疲れた精神に新鮮な活力を与えてきたことは無視できないが、肉体的な性だけではなく、メンタルな部分まで商品化させてしまった。

また、教育上、青少年まで汚した文明は早く破滅していったということは、歴史が物語っている。今の状況が、人

類社会を明るく、持続可能に発展させるのに、原動力として役に立っているかどうかは即断できないが。近い将来、韓・日の若者の交流がより進む時点で、保守的な韓国人に日本人の性の風俗をどう説明したらよいか、私にはよく判らない。

## プロフィール

- ◆一九六二年九月八日生まれ
- ◆一九八五年二月忠南大学校生物学科卒業
- ◆一九八七年二月 同大学院で修士課程（植物学専攻）修了後、空軍で約三年間の兵隊義務を終了した
- ◆一九九一年広島大学大学院博士課程後期に留学、根平教授の指導で三年間、約十回を超える韓・日調査や分析を行い、現在「韓国と日本における里山アカマツ林の植生動態」という論文の博士学位の申請中である



▲根平・中越研究室の1993年度新歓コンパ（私の調査地双三郡三和町の“ふるさと村”で）